



平成 29 年 9 月号 (第 256 号)

特集

「平成 28 年度ダイオキシン類調査結果」等について
お知らせします

P2



「アクション油ヶ淵 2017」を開催しました (P 4)



第 47 回愛知県野生生物保護実績発表大会
を開催しました (P 6)



連載「愛知県内の環境学習施設へ遊びに行こう！」
＜弥富野鳥園＞ (P 8)



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>





「平成28年度ダイオキシン類調査結果」等について お知らせします

愛知県は、ダイオキシン類対策特別措置法第27条第1項及び第2項に基づき実施した県内の環境調査の結果並びに同法第28条第3項に基づき法対象事業者から報告された事業者による測定の結果をとりまとめました。

1 環境調査結果

愛知県は、国土交通省中部地方整備局、4政令市（名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市）及びその他14市町とともに、大気環境、水環境（水質、底質、地下水）及び土壌環境について調査を実施しました。

平成28年度の結果概要は、下表のとおりです。

	地点数	濃度範囲	環境基準値	単位
大気	36	0.0090～0.058	0.6	pg-TEQ/m ³
水質	51	0.024～2.8	1	pg-TEQ/L
底質	45	0.053～44	150	pg-TEQ/g
地下水	15	0.015～0.079	1	pg-TEQ/L
土壌	18	0.0025～3.7	1,000	pg-TEQ/g

（注1）濃度範囲及び環境基準値（大気、水質、地下水）は年間平均値。

（注2）TEQとは、ダイオキシン類は異性体が多く、毒性は異性体ごとに異なるため、異性体の中で最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDの量に換算した値として示したものです。

	地点数	濃度範囲	全国一斉調査結果(11年度)	単位
水生生物（魚類）	4	0.63～2.6	0.032～33	pg-TEQ/g

大気、底質、地下水及び土壌については、調査した全ての地点で環境基準を達成しました。水質については、1地点を除き環境基準を達成しました。

また、水生生物（魚類）については、環境基準が定められていませんが、国が平成11年度に行った全国一斉調査結果の範囲内でした。

2 事業者による測定結果（4政令市分を除く。）

事業者は法に基づき、毎年1回以上排出ガス、排出水及びばいじん等に含まれるダイオキシン類濃度

の測定を行い、その結果を知事に報告することが義務付けられています。

平成28年度の測定・報告状況の概要は、下表のとおりです。

測定項目	報告済施設数	基準不適合施設数	未報告施設数
排出ガス	316	(1)	2
排出水	24	(0)	0
ばいじん及び燃え殻	179	(0)	1

（注1）施設数は、平成28年度末の数を示す（ただし、報告後廃止した施設も含む。）。

（注2）排出水の施設数は、事業場数を示す。

（注3）未報告施設数は、平成28年度末の時点で稼働している施設数のうち、未報告の施設数を示す。

排出ガスについては316施設、排出水については24事業場から報告があり、1施設の排出ガスを除き排出基準に適合していました。

また、ばいじん及び燃え殻については179施設から報告があり、全て処理基準に適合していました。

なお、排出ガス基準を超過した事業場に対しては、改善対策の実施を指導し、改善されました。

3 今後の対応

ダイオキシン類による汚染の状況を監視するため、法に基づき、引き続き環境調査を実施していきます。

また、今後もダイオキシン類に係る事業場に対して立入検査を継続し、排出基準、処理基準などの遵守状況を把握するとともに、排出削減の指導をしていきます。

ダイオキシン類調査の詳細はWebページをご覧ください。
(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000007021.html>)

（環境活動推進課 環境リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン））

まなびや もりの学舎秋の特別企画を実施します！

愛・地球博記念公園（モリコロパーク）内のもりの学舎では、（公財）愛知臨海環境整備センター（略称：アセック）の協力を得て、10月1日（日）から10月31日（火）まで、秋の特別企画を実施します。

公園内をめぐりながら自然や環境に関連したクイズを解く「森のナゾときウォーク」や、もりの学舎で行う工作教室など様々な企画をご用意して、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

参加費はいずれも無料です。

「森のナゾときウォーク」

1 開催日時

10月1日（日）～10月31日（火）

9:00～16:30

ただし、もりの学舎の休館日（月曜日、月曜日が祝祭日の場合は翌日）は除く。

2 参加方法

もりの学舎、総合案内所、西口休憩所などで地図を手に入れ、地図に示された「ナゾときボックス」を巡ります。

3 参加特典

参加者にはもりの学舎グッズや、アセックオリジナル缶バッジをもれなくプレゼントします。



ナゾときボックス



プレゼント（一例）

森のナゾときウォークの詳細や他のプログラムについては、Web ページをご覧ください。

([http://www.pref.aichi.jp/soshiki/](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/autumn.html)

[kankyokatsudo/autumn.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/autumn.html))

（「エコリンクあいち」で検索し、新着情報をチェックしてください。）

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011（ダイヤルイン）

フロン類排出抑制対策に関する講習会 ～業者向け～を開催します

9月はおゾン層保護対策推進月間です

愛知県では、オゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロン類の排出抑制対策について広く学んでいただくため、「フロン類排出抑制対策に関する講習会」を開催しています。第2回となる今回は、フロン類充填回収業者の方や、冷凍空調機器の設備施工・保守・メンテナンス業者の方などが対象です。

多くの方のご参加をお待ちしています。

1 日時 10月17日（火）14:00～16:00

2 場所 ウィンクあいち 10階 1002会議室
（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

3 内容

・講演「フロン排出抑制法について」

講師：（一社）日本冷凍空調設備工業連合会
業務部担当部長 河西 詞朗 氏

4 定員 150名（先着順）



5 参加費 無料

6 申込方法

①社名・団体名 ②所属 ③氏名 ④参加人数
⑤連絡先（電話番号、FAX番号、Eメールアドレス）
を記載の上、郵送、FAX又はEメールによりお申し込みください。

7 申込先

環境部大気環境課（〒460-8501 住所記載不要）

FAX: 052-953-5716

Eメール: taiki@pref.aichi.lg.jp

※詳細は、Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki>

[/2902furonkosyukai.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/2902furonkosyukai.html))

大気環境課 規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）



あぶらがふち 「アクション油ヶ淵2017」を開催しました

県内唯一の天然湖沼である「油ヶ淵」は、流域の都市化の進展や閉鎖性水域であることなどから水質の環境基準を達成していない状態が続いています。このため、愛知県と油ヶ淵周辺4市（碧南市・安城市・西尾市・高浜市）では、水質改善対策や、地域の方々に向けた生活排水対策の普及・啓発事業などを実施しています。

このたび啓発事業の一環として、イベント「アクション油ヶ淵 2017」を7月22日に安城市のデンパークで開催し、約840名の参加がありました。

「半場川で魚と遊ぼう！」では、童話作家の阿部夏丸^{あべなつまる}さんから紙芝居を交えた川にすむ生きものの解説を聞いた後、油ヶ淵の流入河川の半場川に入って、生息する生きものとふれあいました。川の中では、皆さん夢中になって魚を追いかけていました。



半場川で魚と遊ぼう！（左：紙芝居、右：体験）

「生きもの講座」では、環境カウンセラーの宮田賢輔^{みやたけんすけ}さんと油ヶ淵流域に生息する生きものでミニビオトープを作りました。ケースの中に、砂や水草、シジミ、エビ、メダカなどを順番に入れながら、それぞれの役割や、生きもの同士が関わっていることなどを学びました。



生きもの講座（左：講座、右：ミニビオトープ）

「生きものタッチプール」では、池に入って油ヶ淵に生息しているコイやナマズといった魚とふれあいました。魚と一緒に泳ぎながらふれあっているお子さんの姿も見られました。



生きものタッチプール

「スタンプラリー」では、油ヶ淵の水とジュースを薄めた水の水質調査をしたり、油ヶ淵に関連するクイズを解いたりしながら、油ヶ淵の水質や環境などについて理解を深めました。



スタンプラリー（左：水質調査、右：クイズ）

参加者の皆さんからは、「油ヶ淵流域にはいろいろな生きものがあることがわかった」「体験しながら楽しく学べた」「油ヶ淵についてあまり知らなかったので勉強になった」「ジュースを薄めた水は、見た目はきれいだけど油ヶ淵の水より水質が悪くなってびっくりしたので、ジュースを直接流しては駄目だと思った」「油ヶ淵の水質や浄化の取組に興味を持った」など様々な声が聞かれ、楽しみながら油ヶ淵に親しみ、学ぶイベントとなりました。

〔 水地盤環境課 調整・生活排水グループ
電話 052-954-6219（ダイヤルイン） 〕

伊良湖休暇村公園で「アウトドアフェスタ」を開催します

1 概要

愛知県では、渥美半島の先端に位置する伊良湖休暇村公園（田原市）内において、「砂丘とオアシスの再生」をテーマとした園地の再整備を進めており、再整備エリアの愛称を「いらご さららパーク」と名付け、平成 26 年 10 月にその一部を供用開始しました。

渥美半島にかつて存在した砂丘や海浜性植物などを再生・保全している本公園を、多くの方に知っていただくために、「アウトドアフェスタ」を休暇村伊良湖と共に開催します。

当日は、「いらご さららパーク」を巡るウォークラリーを始め、砂の彫刻を作るサンドアート体験や、砂絵や折り紙で遊べる工作教室、伊良湖岬が舞台となった叙情詩「椰子の実」にちなんだ椰子の実ころがし大会などの楽しいイベントを多数用意しております。

また、供用開始時に植栽した海浜性植物が元気に育っており、ハギクソウやネコノシタなどの希少な植物もご覧いただけますので、是非お越しください。

いらご さららパーク



ハギクソウ



ネコノシタ

昨年度のアウトドアフェスタの様子



2 日時

9 月 24 日（日）10：00～16：00

3 場所

伊良湖休暇村公園（田原市中山町大松上 1）
豊橋鉄道三河田原駅から豊鉄バス伊良湖岬行き
「休暇村」バス停下車（バス乗車時間約 40 分）

4 その他

- ・参加費無料（事前申し込み不要）
- ・駐車場無料
- ・休暇村伊良湖レストランで食事可能
- ・雨天中止（中止のお問い合わせは、休暇村伊良湖まで。電話 0531-35-6411）



（自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227(ダイヤルイン)

第47回愛知県野生生物保護実績発表大会 ～ 輝く未来のいきものサポーター ～ を開催しました

1 目的

この大会は、学校や団体が行う野生生物の保護活動実績等についての取組発表を通して、県民の皆さんに野生生物に対する保護思想の普及・啓発と環境保全意識の高揚を図ることを目的に開催されています。

今年は、8月3日に、刈谷市産業振興センターにおいて、「第47回愛知県野生生物保護実績発表大会」を開催しました。

2 大会内容

今年は募集対象を高等学校まで拡充し、積極的な呼掛けを行いました。また、参加者の方々に親しみが持てる発表大会になるよう、大会名にサブタイトル「輝く未来のいきものサポーター」をつけました。

さらに、COP10の開催地として、生物多様性の主流化を推進するため、「多様な主体の連携」や「生物多様性保全」の観点から、幅広く発表団体を募ったところ、例年より多数の応募がありました。当日は、予備選考で選ばれた13団体による発表が行われ、各賞を受賞されました。

児童・生徒による舞台発表のほか、もりの学舎インタープリターによる参加型学習プログラムや、愛知県獣医師会による講義、発表団体によるパネル展示・資料配布を行うなど、取組発表以外にも内容を充実させ、約200名の参加者・来場者の方々に野生生物保護思想への理解を深めていただく機会を提供しました。



元気いっぱいの取組発表・参加型学習プログラム

3 受賞団体

各賞については、以下のとおりです(発表順)。

【愛知県知事賞】

- ・岡崎市立生^{おいだいら}平小学校
「守ろう！野鳥の住む町 生平 ～野生生物保護活動を通して～」



知事賞受賞を喜ぶ皆さん

- ・豊田市立滝^{たきわき}脇小学校
「私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ」

- ・愛知県立佐屋高等学校
「アヒル農法でヘイケボタル舞う水田環境を実現」

【愛知県教育委員会賞】(以下発表タイトル省略)

- ・岡崎市立河合小学校
- ・愛知県立碧南高等学校科学部

【愛知県自然観察指導員連絡協議会賞】

- ・春日井市立東高森台小学校・岡崎市立形^{かたの}埜小学校
- ・岡崎市立新香山^{しんかやま}中学校・愛知県立木曾川高等学校
- ・桜^{さくらがおか}丘高等学校生物部

【愛知県獣医師会賞】※今年度新規創設

- ・瀬戸市立古瀬^{こせと}戸小学校・一宮市立尾西^{びさいだい}第一中学校
- ・愛知県立豊田西高等学校

4 おわりに

この大会で優秀な成績を収めた団体については、11月下旬に開催される予定の「全国野生生物保護実績発表大会」に推薦する予定です。

また、発表者の皆さんには、諸先輩方から引き継いだこれらの活動を発展させ、「輝く未来のいきものサポーター」として今後も活躍されるとともに、野生生物保護思想・生物多様性保全の取組が県内全域に浸透することを期待します。

最後に、活動を支えていただいた先生や先輩、地域の協力者の方々に厚くお礼申し上げます。

〔 自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

愛知県から3名が平成29年度自然公園関係 功労者環境大臣表彰を受賞しました。

環境省では、自然公園の保護とその適正な利用に関して、顕著な功績があった方を讃えるために「自然公園関係功労者環境大臣表彰」が行われています。

本年度の表彰では全国から28件が選ばれ、そのうち本県からは、自然公園指導員として長年ボランティアで活動されてきた3名が受賞されました。



表彰式の様子

(7月31日 ANA クラウンプラザホテル釧路にて)

<受賞者及び功績> (敬称略)

なかにし ただし
中西 正 (豊橋市)

平成2年から、主に三河湾国定公園において活動され、自然観察会等による自然保護思想の普及啓発に貢献された。また、豊橋市自然環境保全基礎調査への参加等、健全な自然環境の維持増進等に尽力された。

つつい かずお
筒井 一雄 (西尾市)

平成6年から、主に三河湾国定公園において活動され、佐久島の生態系保護活動の実施や来島者への啓発を行うなど健全な自然環境の維持増進等に尽力された。

かとう ひろとし
加藤 博俊 (設楽町)

平成14年から、主に愛知高原国定公園において活動され、自然観察ガイドや希少動植物の記録調査を行うなど、健全な自然環境の維持増進等に尽力された。

〔自然環境課 調整・施設・自然公園グループ〕
電話 052-954-6227 (ダイヤルイン)



連載 サスティナ研ニュース ⑪

～研究員が各パートナー企業・団体の現場で調査・研究を実施～

大学生を対象とした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」では、8月から9月にかけて、研究員がチームごとにパートナー企業・団体の現場で、企業等から提示された研究課題を解決するための調査・研究を実施しています。本連載では全10チームの状況について、順次紹介します。

1 チーム・ミツカン

研究課題 商品や売り場でお客様がミツカンらしい環境配慮を体感できる方策を検討せよ

チーム・ミツカンでは、初回に担当者へのヒアリングの実施や、「MIZKAN MUSEUM」の見学を通じて、同社の製品づくりにおける環



ヒアリングの様子

境配慮等について調査を行いました。今後はこれら

を踏まえ、「ミツカンらしさ」が感じられる具体的な方策について検討していきます。

2 チーム・キャッスル

研究課題 地域とホテルが連携し、「魅力ある“あいち”」を発信できる環境配慮企画について検討せよ

チーム・キャッスルでは、初回にホテル館内における環境配慮の取組について調査を行うとともに、地域の活性化にホテルが果たす役割について、担当者



ホテル内の調査の様子

にヒアリングを行いました。今後は「本ホテルだからできる」という視点を大事に、地域と連携した環境配慮企画の具体的な検討を行っていきます。

〔環境政策課 企画・広報グループ〕
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)



愛知県弥富野鳥園は、木曽川、長良川、揖斐川の三大河川により広大な干潟や湿地、葦原が形成され、水鳥を中心とした渡り鳥の中継地、渡来地として全国でも知られている野鳥の宝庫となっている地域にある施設です。昭和 50 年 5 月、野鳥の調査・観察及び保護の普及啓発を目的として開園しました。



弥富野鳥園本館

弥富野鳥園本館の 2 階には展示室、資料室、会議室があります。展示室では鳥類に関するパネル、羽・骨の標本、ジオラマ等が、資料室ではキジ類、シギ類、タカ類、カモ類等の剥製が展示されており、会議室は写真展や親子での工作教室など各主催事業に幅広く使用しています。一般利用も可能です。また、3 階には展望室があり、無料で使える大型双眼鏡を 5 基設置しています。



資料室



展望室

当園では一年を通して様々な主催事業を行っていますが、その中でも特に人気があるのは、ミニ探鳥会と探鳥会で、野鳥が少なくなる 7、8 月を除き、毎月 1 回、年間それぞれ 10 回ずつ行っています。

これらの事業では、普段入ることのできない野鳥保護地内を、日本野鳥の会愛知県支部の案内人と一緒に歩きながら野鳥観察をするものです。ミニ探鳥会は約 1km のコースで約 1 時間、探鳥会は約 2km のコースで約 2 時間となります。事前申込みは不要で無料で参加でき、双眼鏡の貸出しも行っていますので、どなたでも気軽に参加していただけます。



探鳥会の様子

これから秋が深まってくると日本で越冬するために飛来してくる野鳥たちで当園はにぎやかになり、野鳥観察にはとても良い季節になります。皆様のご来園を心からお待ちしています。

【愛知県弥富野鳥園の施設情報】

住所：〒498-0067 弥富市上野町 2-10

電話：0567-68-2338 FAX：0567-68-4820

<http://www.aichi-park.or.jp/yachou/>

休園日：月曜日（月曜日が祝祭日の場合は翌日）

開園時間：9：00～17：00

（環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン））

愛知県環境情報紙「環境かわら版」

平成 29 年 9 月 4 日発行(第 256 号)

編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

暑くて寝苦しい夜が続いていますが、早朝に目覚めた時に涼しい風が吹いていて、秋が近づいていることを実感しました。

秋には環境に関するイベントが県内の各地で開催され、AEL ネットスタンプラリー対象イベントであれば、スタンプを集めることができます。我が家の娘はスタンプのかわいいイラストを気に入っているのので、一緒にイベントに参加して、スタンプ帳にスタンプをたくさん集めたいです。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。